



鹿追町教育委員会
教育委員長

白井 あや子

町民の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日ごろより、本町の教育行政が、理事者並びに関係機関、そして町民各位の深いご理解とご支援により、円滑に推進されておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、今日学校教育では、小学校で平成23年4月より、新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程が完全実施され、これまで以上に「確かな学力」や「豊かな心」「健やかな体」等の調和のとれた「生きる力」を大きくむくことが、喫緊の課題となっております。

特に学力につきましては、道教委が平成26年度全国学力・学習状況調査までに学力を全国平均以上にするという目標を掲げており、計画的で実践的な取り組みが求められております。

本町におきましては、このような状況を見据え、中高一貫教育を推進してまいりましたが、英語教育「カナダ学」と環境教育「地球学」については、文部科学省の教育研究開発学校の指定を受け実践を重ねてきております。現在は、これまでの成果を生かしつつ、新聞等でご存じのことと思いますが、新たにジオパーク構想を踏まえた次年度からの研究の準備中であります。

終わりにりましたが、今後も、家庭教育、学校教育、そして社会教育が一体となり町ぐるみで子どもを大きくむくべく、生涯学習の推進に尽力してまいりますので、皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。



陸上自衛隊鹿追駐屯地
司令

原 口 義 寛

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様それぞれ希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災に伴う災害派遣に駐屯地の主力をもって参加し、被災された方々の救出活動と生活支援に微力ながら携わってまいりました。この間、派遣隊員はもとより、駐屯地で後方業務に携わった隊員や留守家族に対して、町から多大なご支援を賜りましたことをこの場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

この震災からの復興には、原発の安定化、大量の瓦礫処理、港湾や堤防の再整備等、長期間にわたる国を挙げての対応が必要になるものと思われま。北海道内におけるこの地震による被害は幸いにも甚大ではありませんでしたが、ここ鹿追町においては、夏場約30年振りの大雨によって、河川や農地、農作物に多くの被害を受けました。

昨年は全国的に自然災害の脅威を目の当たりにする一年であり、防災に関して多くの教訓を得た一年であったものと感じております。また、紙面の関係で細部は割愛させていただきますが、我が国を取り巻く安全保障環境も一層厳しさを増している状況にあります。

駐屯地は、防衛や災害派遣を始めとするあらゆる任務に即応すべく能力向上に努めつつ、地域と共にある駐屯地として努力する所存でありますので、皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本年も、鹿追町、町民の皆様にとりまして、良い一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



鹿追町農業委員会
会長

松 浦 優

町民の皆様、輝かしい平成24年の新年を迎え心からお慶び申し上げます。

農地行政を預かっております農業委員会の活動に對しまして、農業関係者、町民の皆様のご理解とご指導を賜っておりますことに、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、政府はハワイで開催されたアジア太平洋経済協力会議（APEC）の首脳会議で、環太平洋経済連携協定（TPP）への交渉参加に向け、関係国との協議に入ることを表明いたしました。農業者、消費者、農業団体のTPP参加への反対にもかかわらず参加協議に入っております。

加えて、関税の規制緩和、消費税を10パーセントに段階的に上げると表明して、国民には何ら分かりやすく説明をしております。

国は農業の再生に向けて、政府が策定した基本方針と行動計画に基づき、農業の集約化、規模拡大、六次産業化を5年間で集中的に実施する考えを表明しております。

平成22年度より美蔓地区で交換分合事業を実施しております。地区内農業者、町、関係機関のご指導ご協力をお願いいたします。

昨年7月農業委員の改選が行われ12名の委員の選任をいただきました。農業の生産基盤であります農地の効率的な有効利用を図るため、農地行政を関係機関と連携をとりながら進めてまいります。

今後とも農業委員会に対して一層のご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。

町民の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



鹿追町農業協同組合
代表理事組合長

佐 藤 雅 仁

町民の皆様、明けましておめでとうございます。ご健勝で平成24年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年中、JA鹿追町事業各般にわたりお寄せいただいたご支援・ご協力に感謝とお礼を申し上げます。

昨年の国内経済は東日本大震災の発生により大打撃を受けました。その後は時間経過とともに持ち直しの動きも見られましたが、欧州債務危機での世界的株安、先進国の景気低迷、新興国の輸出低迷、さらに円高進行が重なり、後半には景気減速感が強まりました。消費動向は依然として低価格志向、消費も弱く、農業生産では飼料・原油・肥料・鉄鋼等の主要生産資材の上昇が続きました。新政権は3代目の首相となり、食糧自給率を10年後に50%に引き上げる「新たな食料・農業・農村基本計画」が決定された中、農業振興には最も影響大のTPP（環太平洋経済連携協定）参加に向け、事前協議を進めております。この協定は24作業分野にわたり関税撤廃と制度の共通化を目指しています。参加なら関税自主権を失い、外交交渉も低下し、大変なことになるでしょう。「食と農をもつて国を守る」ため、断固阻止を貫く運動を強化しなければなりません。

さて、本町農業生産を振り返ると、春の遅れ、収穫期の台風接近による大雨で停滞水の発生等、年間を通して雨量が多く、農作業に苦勞の多い年でありました。主要作物では、豆類を除いて平年作以上の生産量が確保されました。酪農では、昨年にくらべて夏の暑さ、年間産出乳量10万トンを超え維持し拡大に努めました。肉牛については、震災による放射能汚染・風評被害等で厳しい市況が続きましたが、23年度農業産出粗生産高は過去最高の水準となりました。

新しい年を迎えて、国内農政を注視し、世界経済の先行き減速を見据えて、競争力のある農業経営の推進が求められます。農業の基本である、土地盤整備、「面」の充実を土台に「畑」「畜」の連携力を更に強固に、次期第9期農業振興計画を樹立いたします。組合員のご努力と関係諸機関のご指導をよろしくお願いいたします。希望にあふれる年頭にあたり、鹿追町、町民皆様にとりまして平穏で最良の年となりますようご祈念し、新年のご挨拶といたします。



鹿追町選挙管理委員会
委員長

鈴 木 善 一

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

今年こそはとの意気込みと希望も新たに、お健やかに平成24年の新春をお迎えの御事と、心よりお慶び申し上げます。

平素、当選挙管理委員会の業務執行につきましては、適正で、かつ温かい御助言と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年も、当選挙管理委員会委員、職員一同、公明正大な業務の執行に、誠心誠意努める所存でございますので、よろしく御指導をお願いいたします。

さて、昨年は4月に地方選の道知事と道議会議員、町長と町議会議員の選挙が執行されました。鹿追町においては、4月24日に町長選は無投票となりましたが、町議会議員の選挙が執行されました。しかし、3月の東日本大震災後による運動自粛もあってか、少数激戦のわりに熱気に欠け、投票率も前回の同選を6・44ポイント下回って、85・7%と本町の地方選としては、過去最低の投票率でした。

昨今は、全国的に各種選挙の度に投票率の低下傾向が続いております。今後の国民のためのよりよい政治の実現に向けて、皆様の選挙権を無駄にせず、一票を確実に投票して、よりよい政治の実現に参画いたしましょう。

末筆になりましたが、我が町鹿追町の限りない御発展と、町民皆様にとって幸多く稔り豊かな辰年であることを祈念いたしまして、初春の御挨拶といたします。



鹿追町商工会
会長

三 井 福 成

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成24年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中、地元商工業者にお寄せいただきました御支援、御愛顧に對して、心から感謝御礼を申し上げます。本年も引き続きましての御利用、御支援を宜しくお願い申し上げます。昨年は、3月11日に発生しました東日本大震災が日本国内に暗い影を落とす中、国内経済にも大きな影響を及ぼしました。被災地の皆様方は、家を失い、職を失い、原発事故により農業も影響を受け、風評被害は北海道まで及んでいます。

景気は、相変わらず低迷し、引き続き失業率も高く新規卒業者の雇用も回復の兆しは見えず、公共事業費の削減、民間給料も減額傾向にあり消費者の買い控えによる売上の減少により経営内容の悪化など非常に厳しい環境にあらうかと思われま。更には、TPPへの参加により主たる産産が農業の我が町にもかなりの影響があると思われま。

昨年は、鹿追町の御支援により、割増率25%という破格のプレミアム商品券の販売、日頃の御愛顧に感謝の気持ちを含めた生活応援販売を実施いたしました。また、消費者の皆様へのアンケートの調査を実施いたしました。町民の皆様には調査への御協力を申し上げます。調査の結果をもとにして商工会としての対応を考えてまいります。

本年も「子育て支援事業」「ナイトウォーク」「アイスキャンドルフェスティバルin鹿追」の事業を継続、生活応援販売を実施し、町内で行われます各種イベント事業への協力、参加も引き続き実施いたします。

昨年の10月29日に道東道が全線開通したことで、札幌から鹿追まで2時間と時間が短縮され道央圏から当町を訪れる人も増えると思われま。「十勝シーニックバイウェイ」十勝平野山麓ルートも昨年陸別町が加わり7町となり、広域で連携し、力を合わせて活動を続け頑張っています。「シーニックマップ」もルート内を訪れていただく人達に役立っていますし、「パークゴルフ場マップ」「アウトドアマップ」などの作製も予定しております。

明るい話題の少ない一年になりそうですが、地元商工業者は、苦しいながらも努力をし、少しでも町民の皆様の一歩に近づける商工業者を目指して頑張っております。本年も引き続き関係機関の御支援、御指導をよろしくお願い申し上げます。本年が鹿追町民にとりまして健康で幸多い一年でありますことをご祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。